

「人種間平等」を求めて

5月25日、アメリカ・ミネソタ州ミネアポリスで、黒人男性ジョージ・フロイドさんが、白人警察官によって拘束死させられるという痛ましい事件が起こりました。その事件を契機に、人種差別への抗議行動が世界中に広がっています。今回は、事件に関する著名人のつぶやきから考えてみましょう。

世界には、さまざまな人種が存在します。特定の人種への偏見によって、その人種を差別する——それが「人種差別」です。

今回の事件から始まった人種差別への抗議行動は、アメリカにとどまらず、ヨーロッパ、アフリカ、中南米、そして日本においても、各地の人種差別の現実と重なりながら広がっています。

この一連の動きについて、著名人のつぶやき（下枠参照）を見てみましょう。

この事件をバンクシーさんは「白人の問題」と語っています。しかし「白人」の語句を「い



じめる側」に変えたとき、それは人種差別だけでなく、私たちの身のまわりにある全ての差別問題につながる事が分かります。

私たちは今回の抗議行動に関心をもち、差別をなくすために自分はどうすればいいのか、考え続けることが大事ではないでしょうか。

皆さんはどう思いますか？



このコーナーは返信欄に寄せられた「声」を紹介します。

- 前の学校で、私の知らないところで何もかもが決まっているといった、空気みたいな扱いを受けたことがありました。いい気持ちはしませんでした。(P.N. Nchan さん)

返信ありがとうございます。自分もその一員なのに、知らないところで……というのは、誰しも経験があるのではないのでしょうか。確かにいい気持ちはしませんよね。今年度のPTA総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、紙上での報告・提案でした。保護者の皆さまからのご意見は、5日(金)付文書で、その結果をお知らせしております。「意見を募る場」「決定事項を知らせる場」は大切です。学校側も気をつけて取り組んでまいります。

このコーナーは、人権について考え続ける場でありたいと考えています。ご感想、お待ちしております。

著名人のつぶやき

- 私たちはみんな違う船でやって来たかもしれない。でも、今は同じ船に乗っている。【ローラ／モデル・タレント】
(アメリカ公民権運動の指導者キング牧師の言葉から)
- アスリートは政治に関与してはいけないと言われることが嫌いです。これは人権の問題です。
【大坂なおみ／プロテニスプレイヤー】
- 僕たちができることは、人種差別と無知によって生まれる間違った判断が、二度となされないよう自分自身に誓うことだ！
選択の余地はない!! 変化を求めよう!!!
【ジョニー・デップ／俳優】
- 有色人種の人たちは、社会のシステムによってつまづいている。それは白人のシステムだ。水道管が壊れ、アパートの低い階に住んでいる人たちが水浸しになっているようなものだ。それを直すのは彼らの仕事ではない。彼らには修理ができない。なぜなら、誰も彼らを上の階の部屋には入れてくれないからだ。これは白人の問題だ。そして、もし白人が問題を解決しようとしなければ、誰かが上に行って、ドアを蹴破るしかないんだ。
【バンクシー／イギリスの路上芸術家】
(Twitter、Instagram訳文から全文もしくは部分引用)

※キング牧師：黒人の解放運動（公民権運動）の中心人物。1964年、非暴力の抗議運動を主導した功績でノーベル平和賞受賞。

2020年度第3号

【ご家庭から】ご感想をお待ちしております。学級担任にお渡しください。

年 組／お名前 (ペンネームもO.K.です)

◆書いていただいた内容をこの通信で紹介してもよろしいですか？ (○ ・ ×)